

第48回「全日本中学生水の作文コンクール」募集案内

平成26年7月に施行された水循環基本法第10条において、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、「水の日」が8月1日と定められました。

国及び都道府県では、この「水の日」の趣旨にふさわしい行事の一環として、次代を担う中学生を対象に「全日本中学生水の作文コンクール」を次のとおり実施します。どうぞ奮って御応募ください。

主催：水循環政策本部、国土交通省、埼玉県

後援：文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省、水の週間実行委員会、
独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

1 メインテーマ 「水について考える」

水は、地球上の全ての生命の源であり、特に私たちの生活や農業・工業等にとって不可欠なものです。一方、水は、「恵み」の一面もあれば、豪雨や洪水、渇水などの「災い」という一面もあります。

また、私たちの暮らしは、水によって支えられていますが、地球上の水は無限ではありません。私たち一人一人が水循環の重要性を理解し、水との関わり方を学んで、水の恩恵を享受し続けるために、何をすべきか考えることが重要です。

あなたにとって、水とはどんなものですか？暮らしの中での体験や授業で学んだこと、調べたことをもとに、水についての考えを作文にまとめてみませんか？

2 応募資格

令和8年度(2026年4月)に埼玉県内の学校に在学中の中学生
(中学生と同じ学齢の者を含む。)

3 原稿

400字詰原稿用紙4枚以内で日本語により表記された個人作品(手書き、電子データいずれも可)に限ります。

4 応募方法

- 作文には、本文の前(原稿用紙枠内)に「題名」、「学校名(ふりがな)」、「学年(令和8年度時点)」、「氏名(ふりがな)」を必ず記入してください。なお、個別の題名は自由です。
- 応募締切日までに到着するように、次に示す送付先に送付してください。送付方法は、郵送または電子メール(10MB以内)のいずれかとします。
- 電子データで提出される場合は、PDFまたはWordファイルとしてください。
- 電子メールでのご応募にあたり添付ファイルの容量が大きくなる場合は、同メールアドレス宛までご相談ください。
- 学校でまとめて送付する場合は、別紙送付票を添付し、学年ごとの作文数がわかるようにしてください。

5 送付先

埼玉県 企画財政部 土地水政策課 水計画調整・水源地域対策担当

【郵送先】 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

【電子メール】 a2180-02@pref.saitama.lg.jp

6 応募締切日

令和8年5月8日(金)

7 審査

① 埼玉県地方審査

5月下旬までに埼玉県地方審査会により審査を行い、県入賞作文を決定します。また、県入賞作文の中から特に優れた作文については、本県代表として国の中央審査の対象となります。

す。

② 中央審査（国土交通省）

7月上旬までに国土交通省水管理・国土保全局水資源部及び中央審査会が審査を行い、入賞作文（最優秀賞、優秀賞及び入選）を決定します。

8 賞及び賞品（予定）

① 埼玉県地方審査

ア 優秀賞 5編以内 賞品：賞状、副賞

イ 入選 数編程度 賞品：賞状、副賞

ウ 特別賞 該当がある場合 賞品：賞状、副賞

※ 優秀賞の中から特に優れた作文を最優秀賞とします。

② 中央審査

ア 最優秀賞（内閣総理大臣賞） 1編 賞品：賞状、副賞

イ 優秀賞 8編を基本 賞品：賞状、副賞

農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、水の週間実行委員会会長賞、独立行政法人水資源機構理事長賞、全日本中学校長会会長賞、シャワーズ賞、中央審査会特別賞(必要に応じて)

ウ 入選 30編程度 賞品：賞状、副賞

エ 佳作 中央審査会へ作文が送付された者のうち、最優秀賞、優秀賞、入選の受賞者を除く者全員に記念品を授与

オ 一日事務所長体験

最優秀賞及び優秀賞受賞者のうち、希望者については、在住地域の地方整備局等又は水資源機構の現地事務所において、「一日事務所長」の体験をすることができます。

9 入賞発表

① 埼玉県地方審査

入賞発表は7月上旬に行い、所属学校を通じて入賞者へ通知します。

② 中央審査

入賞発表は7月中旬に、国土交通省水管理・国土保全局水資源部から県を經由し、所属学校を通じて入賞者へ通知します。

10 賞状等の授与

① 埼玉県地方審査

賞状等の授与は、埼玉県地方審査会入賞者表彰式、または入賞者の所属学校への送付により行います。

② 中央審査

最優秀賞及び優秀賞の受賞者は「水の日」の行事に招待され、その際に各授与者から賞状、副賞が授与されます。（令和8年8月上旬予定）

入選受賞者の賞状及び副賞、佳作受賞者の記念品は、所属学校に送付します。

11 著作権等

- ・ 応募作文は自作の未発表のものに限ります。なお、生成 AI による生成物は認められません。
- ・ 入賞作文の使用権は、主催者に帰属します。
- ・ 応募作文の返却は行いません。
- ・ 表彰式で事務局が撮影した入賞者集合写真の使用権は、主催者に帰属します。

12 その他

- ・ 入賞作文については、作文、学校名、学年及び氏名を、国土交通省及び埼玉県ホームページでの掲載、埼玉県庁舎内での展示を行うとともに、報道機関を含めた関係者へ提供する場合がありますので、予め御承諾の上、御応募ください。
- ・ 表彰式で撮影した写真は、国土交通省及び埼玉県のホームページでの掲載、及び埼玉県庁舎内で展示される場合がありますので、予め御承諾の上、御応募ください。
- ・ 本コンクールの応募作文に記載される個人情報、本コンクールの運営に必要な範囲内で利用します。また、応募者の同意なく、本来の利用目的を超えて転用することはありません。

- ・ 受賞後に、不正（他人の作文の盗用、生成 AI による作文の生成など）が発覚した場合は、賞を取り消すことがあります。
- ・ 埼玉県地方審査会入賞者表彰式の開催については、7 月下旬に報道発表を予定しています。

■ 作文のテーマの例

① 森林による水源かん養	水源地域の人々への感謝、水源かん養のための森林が果たす役割
② 川の様々な役割	水を利用するための水源、自然環境の保全、人と川との豊かな触れ合い
③ ダムの役割	洪水調節、水資源開発、観光資源
④ 農業用水、農業水利施設	農業生産を支える水、渇水時の労苦、農業用水が有する多様な機能（水源涵養、生態系保全等）、先人の努力により築かれた農業水利
⑤ 堰による取水	歴史的な水争い、如何にして川の水を取水しているか
⑥ 水道	安心して蛇口の水を直接飲むことができる環境を作っている施設の役割の大切さやそこで働いている人たちへの思い
⑦ 工業用水 ものづくり（産業）と水	ものづくりには豊富な水資源が必要 何故、工場は河川や海の傍に立地するのか
⑧ 水力発電	再生可能エネルギー、小水力発電の取組
⑨ 水ビジネス	日本の水技術を国際的に展開することの意義
⑩ 省水、省エネ化など 水に関する技術	工場などでの循環利用による省水化 海水淡水化施設、再生水施設
⑪ 水質改善、下水処理	川や湖や海の水質改善のために自分たちでできる工夫、下水処理の役割
⑫ 雨水の利用	雨水利用の意義や普及促進のアイデア